

問題 I

以下の文章の空欄 (1) (2) から (7) (8) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (ケ) に関連する設問 1 から 9 について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

いわゆる「大航海時代」の先陣を切ったのはポルトガルだった。ポルトガルは15世紀初めには、^(ア)アフリカ西岸の探検に乗り出しており、1488年にはポルトガル王 (1) (2) の治世下、バルトロメウ＝ディアスが喜望峰に到達した。1498年にはヴァスコ＝ダ＝ガマが喜望峰回りでインド西岸に到達し、^(イ)ポルトガルはインド航路を開拓した。

一方、1492年にコロンブスはスペイン女王の支援によって西インド諸島に到達した。その後、スペインはアメリカ大陸への進出を本格化した。1521年にはコルテスの率いる軍隊によってアステカ王国が滅ぼされた。1533年にはピサロによって皇帝 (3) (4) が殺害され、インカ帝国は滅んだ。アメリカ大陸では、^(ウ)スペイン王が植民者に統治を委託する制度が採用され、先住民は農園や鉱山で働かされた。その後、この統治形態は機能しなくなった。

16世紀半ばに^(エ)ポトシ銀山の発見などにより、アメリカ大陸で^(オ)銀の生産量が大幅に増加すると、大量の銀がヨーロッパに流入し、ヨーロッパの経済・社会に大きな影響をもたらした。銀の流通量の増大は東アジア、東南アジアでも生じた。中国は14世紀後半から^(カ)海禁政策をとっていたが、1530年代に日本銀の生産量が飛躍的に増加すると、日本銀と中国の生糸などとの密貿易が活発化した。16世紀後半からは、アメリカ大陸とフィリピンの間をガレオン船で結ぶ貿易が行われるようになり、大量の銀が中国に流入し、中国での商品流通を促した。16世紀の^(キ)東アジアや東南アジアでの経済活動の活発化は、海禁政策に動揺をもたらした。

16世紀のヨーロッパは宗教改革の時代でもあった。ドイツや北欧ではルターの教えが、フランス、ネーデルラント、イギリスではカルヴァンの教えが広まっていった。この動きに対抗して、カトリック教会は体勢を立て直す必要に迫られた。こうした中、^(ク)イエズス会が1534年に結成され、海外での宣教活動を行った。

16世紀半ば、スペインの支配下にあったネーデルラントでは、スペインのカトリック化政策の強化に対する反乱がおこった。1579年にネーデルラントの北部7州が (5) (6) 同盟を結び、1581年には独立を宣言した。1609年には、スペインとの間で休戦が成立する。しかし、この戦いの過程で、商業都市として栄えていた (7) (8) が1585年にスペインに占領された。この結果、多数の織物業者や商人が亡命した。17世紀になると、^(ケ)オランダは東インド会社を設立して海外へ進出していく。

〔設問 1〕

下線部 (ア) に関連して、次の文章の (9) (10) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

「航海王子」エンリケはアフリカ西岸航路の開拓を推進した。この探検の目的は、金などの入手の他に、当時存在すると信じられていたキリスト教王 (9) (10) の王国と連絡をとることにあった。

[設問 2]

下線部（イ）に関連して、ポルトガルの海外進出として（a）から（c）の出来事が下に示されている。（a）から（c）の出来事を古い順に正しく並べたものを [01] から [06] より選び、その番号を

(11)	(12)
------	------

 にマークしなさい。

（a） セイロン島占領 （b） マスカット占領 （c） マラッカ占領

[01] （a）→（b）→（c）

[02] （a）→（c）→（b）

[03] （b）→（a）→（c）

[04] （b）→（c）→（a）

[05] （c）→（a）→（b）

[06] （c）→（b）→（a）

[設問 3]

下線部（ウ）に関連して、16世紀から17世紀前半までのスペインの植民地経営に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(13)	(14)
------	------

 にマークしなさい。

[01] スペインによる植民者への統治の委託は、先住民のキリスト教化と保護を植民者に義務として課すものだった。

[02] 聖職者の中には、ラス=カサスのように先住民の権利擁護を訴える者がいたが、スペインは先住民の奴隷化を禁止しなかった。

[03] スペインがアシエントを通じて黒人奴隷を調達するようになった背景には、トルデシリャス条約の存在がある。

[04] 17世紀には、債務を負った農民を主な労働力として用いる大農園制度が広まっていった。

[設問 4]

下線部（エ）に関連して、ポトシ銀山のあった場所は現在のどの国に属するか。その国名を語群より選び、その番号を

(15)	(16)
------	------

 にマークしなさい。

[設問 5]

下線部（オ）に関連して、銀に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(17)	(18)
------	------

 にマークしなさい。

[01] 元は、銀を通貨の要とし、その補助として交鈔とよばれる紙幣を流通させた。

[02] 石見銀山では灰吹き法という精錬技術が導入されたことで、銀の生産量が飛躍的に増加した。

[03] ニュルンベルクを本拠地とするフッガー家は、ティロル地方の銀山の開発などにより財をなした。

[04] 19世紀後半の東アジアや東南アジアでは、貿易の決済のため、メキシコドルを原型とする銀貨が広く流通した。

[設問 6]

下線部（カ）に関連して、15世紀の明の対外政策に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(19)	(20)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] ベトナムの黎朝は明の撃退に成功し、明に朝貢しなかった。
- [02] 明は、内陸部のモンゴルや女真との貿易も朝貢関係に限定した。
- [03] 尚巴志の建国した琉球王国は、明の海禁・朝貢体制の下で中継貿易を行った。
- [04] 永楽帝は鄭和に命じて南海大遠征を行わせ、諸国に朝貢を促した。

[設問 7]

下線部（キ）に関連して、明代の東アジア、東南アジアの情勢に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(21)	(22)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] アルタン=ハンの保護の下で、長城の外側に中国風の城郭都市が建設された。
- [02] オイラト軍が西安近郊の要塞で明の皇帝英宗を捕虜にする事件が起きた。
- [03] 倭寇には多くの中国出身者が加わっていたが、王直はその一人で、五島列島などを拠点に活動した。
- [04] 張居正は検地や一条鞭法の施行を推進し、財政再建を進めようとした。

[設問 8]

下線部（ク）に関連して、イエズス会に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(23)	(24)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] アダム=シャルは、徐光啓とともに『崇禎曆書』の作成に従事した。
- [02] レジスは『皇輿全覧図』の作成に従事した。
- [03] 中国における宣教活動では、孔子・祖先崇拝を認めるなど中国の伝統文化に配慮した活動を行った。
- [04] ザビエルは、日本での宣教活動後に立ち寄ったインドのゴアで病死した。

[設問 9]

下線部（ケ）に関連して、オランダ東インド会社に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(25)	(26)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 長崎の出島に置かれたオランダ東インド会社の商館を介して、ヨーロッパへ輸出されたものに有田焼がある。
- [02] オランダ東インド会社は、喜望峯以東の植民地経営と交易の独占を国から特許された会社で、軍隊の保持など国家に準じる権限を政府から認められていた。
- [03] オランダ東インド会社では、航海費用を出資者から募り、利益を出資者に還元するという資金調達方法が用いられた。
- [04] 17世紀前半からオランダ東インド会社は台湾を東アジア交易の拠点としていたが、スペインとの争いに敗れ、台湾から撤退した。

〔語群〕

- | | | | |
|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 01. アウイツォトル | 02. アーサー | 03. アタワルパ | 04. アドワ |
| 05. アフォンソ 4 世 | 06. アムステルダム | 07. アントウェルペン | 08. エクアドル |
| 09. カデシュ | 10. カルマル | 11. カルロス 1 世 | 12. キュリロス |
| 13. コロンビア | 14. サモリ=トゥーレ | 15. シュマルカルデン | 16. ジョアン 2 世 |
| 17. チリ | 18. ドゥアルテ 1 世 | 19. ハーグ | 20. パチャクテク |
| 21. パナマ | 22. ハンザ | 23. フェリペ 2 世 | 24. フェルナンド |
| 25. ブガンダ | 26. ブラジル | 27. プルシャプラ | 28. ブルッヘ |
| 29. プレスター=ジョン | 30. ペルー | 31. ホラント | 32. ボリビア |
| 33. マンサ=ムーサ | 34. ムワタリ | 35. メキシコ | 36. モノモタパ |
| 37. ユトレヒト | 38. ロッテルダム | | |

問題 II

以下の文章の空欄 (27) (28) から (35) (36) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (ク) に関連する設問 1 から 8 について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。なお、同じ番号の空欄には同じ語句が入る。

その起源をアケメネス朝ペルシアにまで遡ることができるペルシア語は、行政や文学の領域で広く用いられ、イラン高原とその周辺地域における共通語の役割を果たし、いわゆる「ペルシア語文化圏」を形成してきた。以下では、この文化圏をめぐる歴史を概観していく。

アッバース朝の成立には、イラン東北部 (27) (28) 地方の人々が大きな役割を果たし、イラン系のマワーリーがワズィールをはじめとする政府の要職に登用された。その後、^(ア)トルコ系・モンゴル系のイスラーム諸王朝の下でもペルシア語文化が隆盛し、独自の^(イ)イラン=イスラーム文化を生み出した。

15世紀半ば、カスピ海西部の (29) (30) を拠点としていたサファヴィー教団は、 (31) (32) と呼ばれるトルコ系遊牧民に多くの信徒を獲得していた。ティムール朝の衰退に伴って、教主イスマーイール 1 世は彼らを率いて挙兵し、1501年にサファヴィー朝ペルシアを建国した。

かくして、サファヴィー朝はイラン高原の支配権を確立したが、西方のイラク方面ではオスマン帝国という大国を前に、その進撃が阻止されることになる。1514年、オスマン帝国とサファヴィー朝の両軍はチャルディランにおいて激突し、 (31) (32) を主力とする騎馬軍団が、大量の鉄砲で武装した^(ウ)イエニチェリに大敗を喫した。この出来事は、ペルシア語文化圏における^(エ)トルコ系マムルークの時代の終焉につながるものであった。

16世紀末に即位した^(オ)アッバース 1 世は中央集権制を整え、イスファハーンに遷都して商工業を育成し、遊牧国家からの脱却を図った。1622年には、ホルムズ島を征服してポルトガル人を追放し、対岸に^(カ)港市バンダレ=アッバースを開いて海上交易に力を注いだ。

18世紀に入るとサファヴィー朝は衰退し、アフガニスタンから進攻してきたアフガン人によって1722年に首都イスファハーンを攻略され、事実上滅亡した。以後イラン高原では、トルコ系遊牧民が (33) (34) 朝を、アフガン人が (35) (36) 朝を興した。

18世紀末、トルコ系騎馬遊牧民がテヘランを首都としてカージャール朝ペルシアを打ち立て、イラン全土を支配したが、^(キ)カフカスの領有を求めて南下するロシアと 2 度にわたって軍事衝突し、敗北した。1828年に締結されたトルコマンチャーイ条約は、ロシアとの関係でイランの領土を初めて国境線で画したものであり、その後の列強によるイランへの干渉の始まりであると同時に、^(ク)国民国家イランへの出発点と言うべきものであった。

[設問 1]

下線部 (ア) に関連して、十字軍国家の最北に位置し、セルジューク朝の勢力と対峙したのは (37) (38) 伯領である。 (37) (38) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問 2]

下線部 (イ) に関連して、後に『四行詩集』で知られることとなるウマル=ハイヤームは、ワズィールであった (39) (40) の下で、ジャラーリー暦の制定に参加した。 (39) (40) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

〔設問 3〕

下線部（ウ）に関連して、イエニチェリに代わる西洋式の新軍団として「ニザーム＝ジェディット」を創設した人物は である。 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

〔設問 4〕

下線部（エ）に関連して、以下の表の（a）から（c）には、左側のイスラーム諸王朝から自立を果たしたトルコ系マムルークの各王朝の名称が入る。（a）から（c）の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。下の〔01〕から〔10〕より選び、その番号を にマークしなさい。

イスラーム王朝	トルコ系マムルーク王朝
アッバース朝	（a）
サーマーン朝	（b）
セルジューク朝	（c）

- 〔01〕 （a） ガズナ朝 （b） トゥールーン朝 （c） ホラズム朝
- 〔02〕 （a） ガズナ朝 （b） ブワイフ朝 （c） トゥールーン朝
- 〔03〕 （a） ガズナ朝 （b） ホラズム朝 （c） トゥールーン朝
- 〔04〕 （a） トゥールーン朝 （b） ガズナ朝 （c） ブワイフ朝
- 〔05〕 （a） トゥールーン朝 （b） ガズナ朝 （c） ホラズム朝
- 〔06〕 （a） ブワイフ朝 （b） ガズナ朝 （c） トゥールーン朝
- 〔07〕 （a） ブワイフ朝 （b） トゥールーン朝 （c） ガズナ朝
- 〔08〕 （a） ホラズム朝 （b） トゥールーン朝 （c） ガズナ朝
- 〔09〕 （a） ホラズム朝 （b） トゥールーン朝 （c） ブワイフ朝
- 〔10〕 （a） ホラズム朝 （b） ブワイフ朝 （c） トゥールーン朝

〔設問 5〕

下線部（オ）に関連して、アッバース1世など、サファヴィー朝の歴代君主はムガル帝国と温和な関係を維持していたことで知られるが、17世紀後半にデカン高原で王国を興し、このムガル帝国に抵抗した人物は である。 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

〔設問 6〕

下線部（カ）に関連して、こうした国際商業活動を担ったのが 商人であり、アッバース1世はイスファハーンに彼らの居住区（ジョルファー）を設けて保護を与えた。 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問 7]

下線部（キ）に関連して、この地方におけるムスリム諸民族の激しい抵抗運動を目の当たりにし、1896年から1904年にかけて『ハジ＝ムラート』を執筆した文学者は である。 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問 8]

下線部（ク）に関連して、2009年に革命30周年を迎えたイランは、この年大統領に再選された保守派の の下で、アメリカ合衆国の中東政策への反発を強めた。 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[語群]

- | | | | |
|--------------------|--------------------|---------------------|-------------|
| 01. アゼルバイジャン | 02. アッコン | 03. アナトリア | 04. アフシャール |
| 05. アブデュルメジト 1 世 | 06. アブデュルレシト＝イブラヒム | 07. アブド＝アッラフマーン 3 世 | |
| 08. アフマディネジャド | 09. アブールアッバス | 10. アルメニア | 11. アワド |
| 12. アンティオキア | 13. イドリース | 14. ウズベキスタン | 15. エデッサ |
| 16. オスマン＝ベイ | 17. カザフスタン | 18. ガッサーン＝カナファアーニー | |
| 19. カプクル | 20. カーリミー | 21. キジルバシュ | 22. グルジア |
| 23. ザイヤーン | 24. サープリーン | 25. サヌーシー | 26. シヴァージ |
| 27. ジャディード | 28. ジャハーンギール | 29. ズィンミー | 30. ストリンドベリ |
| 31. セイエド＝アリー＝モハンマド | | 32. セファルディム | 33. セリム 3 世 |
| 34. ソグド | 35. タゴール | 36. タジキスタン | 37. ダマスクス |
| 38. タリム | 39. ティフリリス | 40. ドウッラーニー | 41. トウルゲーネフ |
| 42. ドストエフスキー | 43. トリポリ | 44. トルクメニスタン | 45. トルストイ |
| 46. ニザーム＝アルムルク | 47. ハイダル＝アリー | 48. バイバルス | 49. ハーキム |
| 50. ハザール | 51. パシュトゥーン | 52. ハヌマーン | 53. ハフス |
| 54. パミール | 55. バラタ＝ナティヤム | 56. ヒジャーズ | 57. ファキーフ |
| 58. プーシキン | 59. フスタート | 60. ボーディセーナ | 61. ホラーサーン |
| 62. マジマジ | 63. マフディー | 64. マフムード＝ダルウィーシュ | |
| 65. マフムト 2 世 | 66. マリーン | 67. ムハンマド＝アフマド | |
| 68. メフメト 2 世 | 69. ユダヤ | 70. ラシード＝アッディーン | |

問題Ⅲ

以下の文章の空欄 (53) (54) から (59) (60) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部(ア)から(キ)、及び空欄 [A] から [D] に関連する設問1から8に答えなさい。なお、同じ番号・記号の空欄には同じ語句が入る。

難民問題を冷戦期と冷戦終結後に分けて考察してみよう。

(ア) 冷戦期には二つのメカニズムで難民が生み出されたと考えられる。一つは東西両陣営の対立に基づくものである。
(イ) アメリカ合衆国とソ連は他国で生じた内部対立に対してしばしば自らの陣営に有利になるよう介入した。こうして
(ウ) 内戦が国際化を通じて深刻さを増し、難民の発生につながる例が少なくなかった。

もう一つは東西各陣営の維持に関わるものである。それぞれの陣営ではアメリカ合衆国とソ連を頂点として、陣営内の結束を乱す動きには制裁が加えられた。例えば、ナジ=イムレ首相がソ連圏からの離脱の動きを示した (53) (54) にはソ連軍が出動し、後に首相は処刑され、多数の人々が国外へと逃れた。冷戦期にはそれぞれの陣営において各国が民族的な利害よりも陣営の結束を優先することが求められ、各陣営は民族主義を封じ込める容器の役割を果たしていたのである。

冷戦構造の崩壊はこの容器が壊れたことを意味し、民族間紛争や分離独立闘争が表面化した。旧ユーゴスラヴィア連邦はその顕著な例である。同連邦は [A]、[B]、[C]、(55) (56)、(57) (58)、マケドニアの6共和国から成り立っていた。複雑な民族問題をかかえて不安定な状況にあったこの地域は、第二次世界大戦中は枢軸国によって分割占領され、パルチザン闘争が続いた。(エ) 同連邦の初代最高指導者は、 (オ) この闘争を指揮し、英雄視された人物であった。

同連邦の解体は、[B] と [C] が連邦から離脱した1991年から始まった。翌年には (55) (56) が独立を宣言する一方、[A] と (57) (58) は新ユーゴスラヴィア連邦を結成した。(55) (56) ではそれまで共存してきた [A] 系、[B] 系、ムスリム系の人々との間で武力衝突が激化した。また、[D] 自治州内では多数を占める (59) (60) 系住民が [A] 系勢力に対抗して分離独立闘争を展開し、2008年に [D] 共和国の独立が宣言された。この一連の過程で多数の難民が生じたのである。

1991年から2000年に国連難民高等弁務官を務めた人物の以下の回想(緒方貞子『紛争と難民 緒方貞子の回想』(集英社、2006年))は示唆に富む。

“(ア) 私が難民とともに過ごした10年は、人道危機が絶え間なく起きた時期であった。UNHCRは世界の全大陸で、まるで消防隊のように火消しとして働いた。戦争の性格が変貌したため、歴史的、民族的、分裂主義的な緊張関係や変化に起因する国内紛争と、はなはだしい人権蹂躪から逃れる難民が生じた。 (イ) われわれがどんなに懸命に難民を保護し、苦しみを和らげて、人道活動だけで難民問題を解決に導くことはできなかった。 求められたのは、国際および地域の主要国が人道・政治・治安活動など、広範な利害を収斂させることであった。包括的な戦略的裏付けがなければ、戦時の緊急事態を食い止めることはできず、平和をもたらす解決策も見いだしようがなかった。”

〔設問 1〕

下線部（ア）の初期に生じた（a）から（d）の出来事を古い順に正しく並べたものを〔01〕から〔18〕より選び、その番号を

(61)	(62)
------	------

 にマークしなさい。

- （a） 経済相互援助会議（コメコン）の結成 （b） コミンフォルムの結成
（c） 大韓民国の成立 （d） 中華人民共和国の成立

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 〔01〕 （a）→（b）→（c）→（d） | 〔10〕 （b）→（c）→（d）→（a） |
| 〔02〕 （a）→（b）→（d）→（c） | 〔11〕 （b）→（d）→（a）→（c） |
| 〔03〕 （a）→（c）→（b）→（d） | 〔12〕 （b）→（d）→（c）→（a） |
| 〔04〕 （a）→（c）→（d）→（b） | 〔13〕 （c）→（a）→（b）→（d） |
| 〔05〕 （a）→（d）→（b）→（c） | 〔14〕 （c）→（a）→（d）→（b） |
| 〔06〕 （a）→（d）→（c）→（b） | 〔15〕 （c）→（b）→（a）→（d） |
| 〔07〕 （b）→（a）→（c）→（d） | 〔16〕 （c）→（b）→（d）→（a） |
| 〔08〕 （b）→（a）→（d）→（c） | 〔17〕 （c）→（d）→（a）→（b） |
| 〔09〕 （b）→（c）→（a）→（d） | 〔18〕 （c）→（d）→（b）→（a） |

〔設問 2〕

下線部（イ）の例といえるラテンアメリカ諸国の事例に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(63)	(64)
------	------

 にマークしなさい。

- 〔01〕 グアテマラでは1951年に成立した左翼政権による農地改革で、アメリカ合衆国系フルーツ会社の所有地も国有化された。
- 〔02〕 ニカラグアで1979年に左翼政権が成立すると、アメリカ合衆国のカーター政権は反体制派組織コントラを支援した。
- 〔03〕 グレナダで1979年に左翼政権が成立すると、アメリカ合衆国は1983年に軍事侵攻した。
- 〔04〕 エルサルバドルの内戦は、国連の仲介が奏功し、1990年代に和平合意によって終結した。

〔設問 3〕

下線部（ウ）の例といえるコンゴ動乱（1960年に独立したコンゴにおける内戦）に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(65)	(66)
------	------

 にマークしなさい。

- 〔01〕 ベルギーからの独立に伴い、中央集権派と地方分権派の対立が激化した。
- 〔02〕 鉱物資源を有するカタンガ州が分離独立を要求した。
- 〔03〕 コンゴ動乱に対してアフリカ統一機構は不介入の立場をとった。
- 〔04〕 コンゴ動乱終結後、首相にルムンバが就任した。

[設問 4]

下線部(エ)の人物が行ったこととして、第1回非同盟諸国首脳会議の開催がある。この会議に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(67)	(68)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] この会議の提唱者には、他にインドのネルー首相とエジプトのナセル大統領がいる。
- [02] この会議は植民地独立の承認と核兵器禁止を訴えた。
- [03] 中華人民共和国はこの会議に代表を派遣しなかった。
- [04] 非同盟諸国首脳会議はその後も継続的に開かれたが、冷戦終結以降は開催されていない。

[設問 5]

下線部(オ)のように外国の支配に抵抗した例は他にもあり、ベトナム民主共和国の独立を宣言した人物もその一人である。この人物のベトナム民主共和国大統領在任中の出来事を次の(a)から(d)より過不足なく選んだものを [01] から [15] より選び、その番号を

(69)	(70)
------	------

 にマークしなさい。

- (a) 中越戦争 (b) ディエンビエンフーの戦い
- (c) トンキン湾事件 (d) ベトナム共和国の終焉

- | | | |
|-------------------|----------------|----------------|
| [01] (a) | [02] (a)(b) | [03] (a)(b)(c) |
| [04] (a)(b)(c)(d) | [05] (a)(b)(d) | [06] (a)(c) |
| [07] (a)(c)(d) | [08] (a)(d) | [09] (b) |
| [10] (b)(c) | [11] (b)(c)(d) | [12] (b)(d) |
| [13] (c) | [14] (c)(d) | [15] (d) |

[設問 6]

下線部(カ)に関して、緒方貞子氏が国連難民高等弁務官を務めていた10年間に起こった出来事を次の(a)から(d)より過不足なく選んだものを [01] から [15] より選び、その番号を

(71)	(72)
------	------

 にマークしなさい。

- (a) エリトリアがエチオピアから独立した。
- (b) 南スーダン共和国がスーダンから独立した。
- (c) リベリアでは内戦終結に貢献したサーリーフが大統領に選ばれた。
- (d) ルワンダへの国連ルワンダ支援団の派遣が決定された。

- | | | |
|-------------------|----------------|----------------|
| [01] (a) | [02] (a)(b) | [03] (a)(b)(c) |
| [04] (a)(b)(c)(d) | [05] (a)(b)(d) | [06] (a)(c) |
| [07] (a)(c)(d) | [08] (a)(d) | [09] (b) |
| [10] (b)(c) | [11] (b)(c)(d) | [12] (b)(d) |
| [13] (c) | [14] (c)(d) | [15] (d) |

〔設問 7〕

下線部(キ)に関して、緒方貞子氏はアフガニスタン難民の問題を「私が難民高等弁務官としてやり残した仕事のなかで最も大きな仕事の一部」としている。アフガニスタンではソ連の軍事侵攻後に大規模な難民流出が起きた。侵攻時にソ連の最高指導者であった人物の在任期間中の出来事を次の(a)から(d)より過不足なく選んだものを〔01〕から〔15〕より選び、その番号を

(73)	(74)
------	------

 にマークしなさい。

- (a) 核拡散防止条約が締結された。
- (b) ソ連が中華人民共和国との技術協定を破棄した。
- (c) ソ連と中華人民共和国との間で、国境をめぐるダマンスキー島事件が起きた。
- (d) 部分的核実験禁止条約が締結された。

- | | | |
|----------------------|------------------|------------------|
| 〔01〕 (a) | 〔02〕 (a) (b) | 〔03〕 (a) (b) (c) |
| 〔04〕 (a) (b) (c) (d) | 〔05〕 (a) (b) (d) | 〔06〕 (a) (c) |
| 〔07〕 (a) (c) (d) | 〔08〕 (a) (d) | 〔09〕 (b) |
| 〔10〕 (b) (c) | 〔11〕 (b) (c) (d) | 〔12〕 (b) (d) |
| 〔13〕 (c) | 〔14〕 (c) (d) | 〔15〕 (d) |

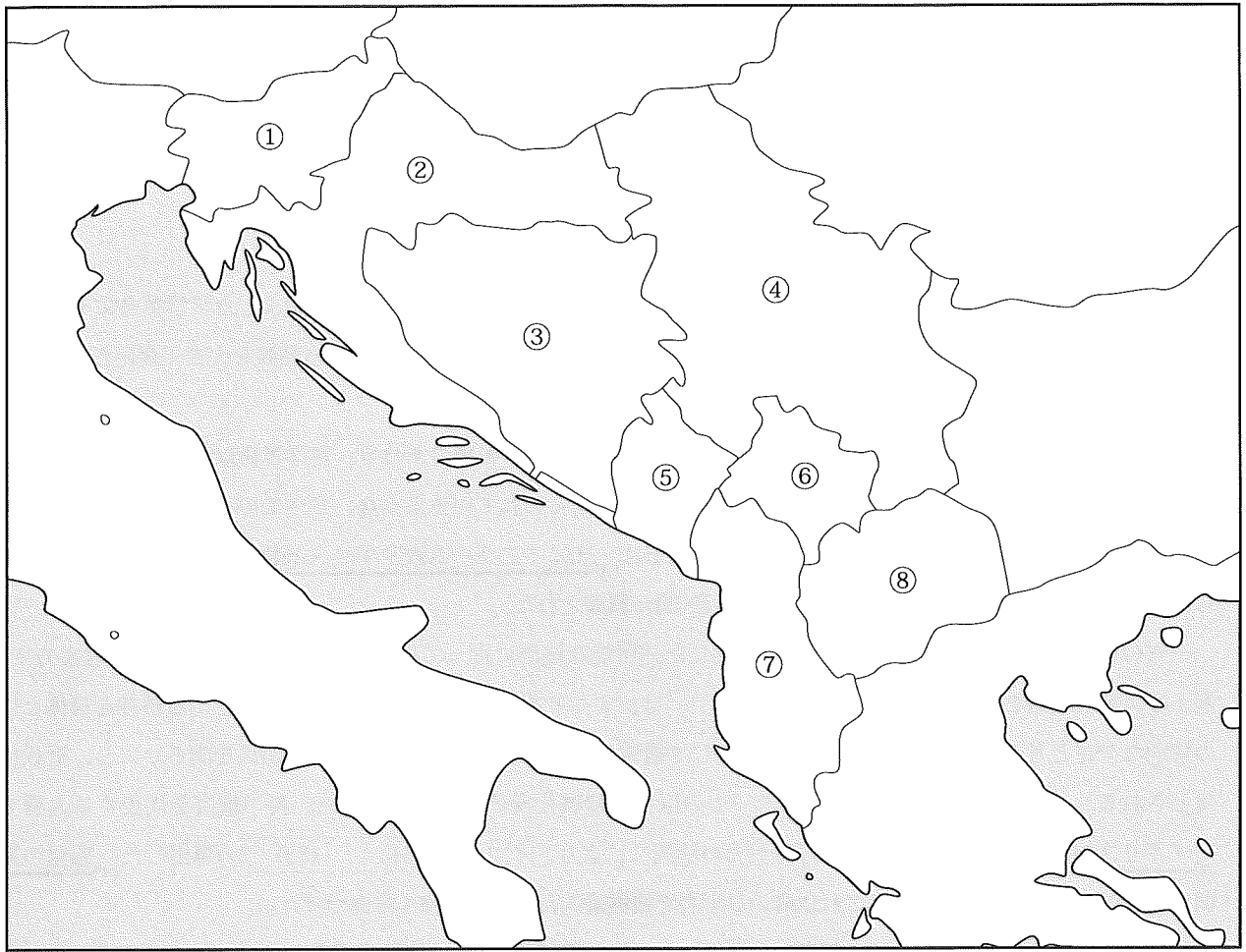
〔設問 8〕

文章中の〔 A 〕から〔 D 〕は現存する国家の名称でもあるが、それぞれの国は現在のバルカン半島を表す地図上の①から⑧のどれに対応するか。正しい組み合わせを〔01〕から〔16〕より選び、その番号を

(75)	(76)
------	------

 にマークしなさい。

- | |
|---------------------------------------|
| 〔01〕 A = ① B = ② C = ③ D = ④ |
| 〔02〕 A = ① B = ③ C = ② D = ④ |
| 〔03〕 A = ② B = ④ C = ① D = ③ |
| 〔04〕 A = ② B = ⑤ C = ④ D = ③ |
| 〔05〕 A = ③ B = ⑤ C = ④ D = ⑥ |
| 〔06〕 A = ③ B = ④ C = ② D = ⑤ |
| 〔07〕 A = ④ B = ② C = ① D = ⑥ |
| 〔08〕 A = ④ B = ⑧ C = ③ D = ⑤ |
| 〔09〕 A = ⑤ B = ① C = ⑦ D = ⑧ |
| 〔10〕 A = ⑤ B = ⑥ C = ⑧ D = ⑦ |
| 〔11〕 A = ⑥ B = ① C = ⑦ D = ⑧ |
| 〔12〕 A = ⑥ B = ③ C = ⑧ D = ⑦ |
| 〔13〕 A = ⑦ B = ⑥ C = ⑤ D = ② |
| 〔14〕 A = ⑦ B = ⑧ C = ⑥ D = ① |
| 〔15〕 A = ⑧ B = ⑦ C = ⑤ D = ② |
| 〔16〕 A = ⑧ B = ⑦ C = ⑥ D = ① |



〔語群〕

- | | | | |
|------------|-------------------|-----------|------------|
| 01. アルバニア | 02. ヴォイヴォディナ | 03. クロアチア | 04. コソヴォ |
| 05. ザグレブ | 06. サライェヴォ | 07. スコピエ | 08. スロヴェニア |
| 09. セルビア | 10. チェコスロヴァキア | 11. ハンガリー | 12. ブルガリア |
| 13. ベオグラード | 14. ボスニア=ヘルツェゴヴィナ | 15. ポーランド | 16. モンテネグロ |
| 17. リュブリャナ | 18. ルーマニア | | |

問題 IV

以下の文章の空欄 (77) (78) から (83) (84) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (ク) に関連する設問 1 から 8 について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。なお、同じ番号の空欄には同じ語句が入る。

今日の科学と技術を支える近代的な観察と実験の手続きは、^(ア)17世紀ヨーロッパで始まった科学革命にその源を遡ることができる。これによって確立された、合理主義にもとづく思想や学問は、人々の自然観を大きく変化させた。こうして刷新された自然観は、現在に至るまで我々の世界の捉え方の礎となっている。

科学革命が自然観に与えた最大の変化は、目的論から機械論への転換であろう。科学革命以前の目的論的な自然観とは、^(イ)古代ギリシアのアリストテレスが体系化した哲学にあらわれているような、すべての事物にはそれぞれ固有の目的があるという考え方である。アリストテレスの思想は、^(ウ)後にイスラーム教やキリスト教の神学に取り込まれ、神があらかじめ世界の法則を定めている、という形で目的論が展開された。

一方の機械論的な自然観とは、自然を数学的に記述可能な法則に従って動く一種の自動機械とみなす考え方である。例えば大陸合理論を打ち立てた (77) (78) は、すべてを疑う立場から出発し、理性を司る精神を身体とは別個の特別な存在と考えたが、身体については徹底して機械と捉えた。気体の圧力と体積の関係を明らかにし、近代化学の父とされる (79) (80) は、世界を一つの巨大な機械仕掛けの時計に喩えた。科学革命を代表する人物である^(エ)イギリスの科学者ニュートンは、「万有引力の法則」によりドイツ人 (81) (82) の導出した^(オ)惑星の運行に関する法則に理論的説明を与え、これ以降の科学者を機械論的自然観へと強く方向づけた。

19世紀には、ダーウィンの『種の起源』の発表によって、機械論的な自然観が生物学にも及ぶことになる。「自然淘汰」の概念により^(カ)進化論から目的論が排除されたのだ。ダーウィン以前の進化論者は、生物は生存に有利な特性の獲得を目指して変化していく、といったように目的論的に進化のメカニズムを考えていた。一方、自然淘汰による進化とは、次のようなものである。①生物は同一種であっても生まれてくる個体間には多少の性質の違いがある。②生存や繁殖に必要な資源には限りがあり、必然的に個体間の競争が生じる。③この生存競争において少しでも有利な特性を持つ個体は、より多くの子孫を残す可能性が高まる。④この結果、長期間の世代交代を経て、競争に有利な特性を持つ個体は集団の中で数を増し、種全体が従来とは異なる性質を持つように変化していく。要するに、自然淘汰による進化とは、ランダムで無方向に生じたある特性が、環境にいわば“たまたま”適合したことをきっかけに機械的に進んでいくものであり、自然そのものが優れたものを“目指す”わけではない。

ダーウィンの進化論は社会にも大きなインパクトをもたらした。一方では^(ク)聖書の記述に反するものとして激しい反発を生み、他方で「適者生存」を唱え進化論を社会に適用した (83) (84) の思想が優生学と結びついた。(83) (84) の思想は中国語を介してアジアにも紹介された。今日でも進化論を盾に優生思想を正当化しようとする言説を目にすることは珍しくない。しかし、そこに見られる“より優れたものを目指す自然の理”という発想は、科学的には既に否定された目的論的進化論のそれである。

〔設問 1〕

下線部（ア）に関連して、17世紀ヨーロッパは相次ぐ飢饉と疫病、戦争や内乱による混乱の中にあり「危機の時代」とも称される。〔01〕 から 〔07〕 に示す17世紀に始まった戦争や内乱を、勃発年の順に並び替えたときに、4番目にあたるものはどれか。その番号を にマークしなさい。

- 〔01〕 イギリス革命
- 〔02〕 オランダ侵略戦争（オランダ戦争）
- 〔03〕 三十年戦争
- 〔04〕 第3次イギリス＝オランダ戦争
- 〔05〕 ファルツ戦争
- 〔06〕 フロンドの乱
- 〔07〕 南ネーデルラント継承戦争

〔設問 2〕

下線部（イ）に関連して、古代ギリシアおよびヘレニズムの自然哲学者・思想家についての記述として正しいものを下から選び、その番号を にマークしなさい。

- 〔01〕 アリストタルコスは地動説を唱え、地球の自転と公転を主張した。
- 〔02〕 イオニアの自然哲学者ヘラクレイトスは、万物の根源は水であると主張した。
- 〔03〕 アルキメデスの発明した大型投石器は、ペロポネソス戦争に投入された。
- 〔04〕 レスボス島出身の医師ヒポクラテスは「医学の父」と称される。

〔設問 3〕

下線部（ウ）に関連して、古代ギリシアの影響を受けたイスラームの学問とその周辺の状況についての記述として誤っているものを下から選び、その番号を にマークしなさい。

- 〔01〕 天文学や代数学に関する書物を著したフワーリズミーの名は「アルゴリズム」の語源となった。
- 〔02〕 フィルドゥシーは、シチリアの君主に仕え、世界地図を作成した。
- 〔03〕 スンナ派のウラマーであったガザーリーは、ギリシア哲学の用語と方法論を学び、神秘主義を理論化した。
- 〔04〕 ハールーン＝アッラシードは、ギリシア語の文献をアラビア語に翻訳する機関をバグダードに創設した。

〔設問 4〕

下線部（エ）に関連して、イギリスでは科学技術の発展を目的として王立協会が設立された。これに関連する記述として誤っているものを下から選び、その番号を にマークしなさい。

- 〔01〕 王立協会の会長をつとめたニュートンは、トーリー派の庶民院議員であったこともある。
- 〔02〕 クックは王立協会から要請を受けてオセアニアを探検した。
- 〔03〕 フランスやプロイセンでも、科学技術の発展を目的として科学アカデミーが設立された。
- 〔04〕 王立協会の前身となる組織は1660年に結成された。

〔設問 5〕

下線部（オ）に関連して、16世紀に地動説を主張し、宗教裁判によって処刑された人物の名前を語群より選び、その番号を

(93)	(94)
------	------

 にマークしなさい。

〔設問 6〕

下線部（カ）に関連して、人類の起源にかかわる学術上の発見についての記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(95)	(96)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] アルジェリアのタッシリ・ナジェールでは牛などが描かれた壁画が見つまっている。
- [02] 新人の化石としては、イタリアのグリマルディ人や、中国の周口店上洞人が見つまっている。
- [03] 1992年に発見されたラミダス猿人の化石には、「トゥーマイ（生命の希望）」という名前が付けられた。
- [04] タンザニアのオルドヴァイ渓谷ではアウストラロピテクスの化石骨が見つまっている。

〔設問 7〕

下線部（キ）に関連して、ダーウィンは、自身の進化論の中核を成すこのアイデアについて、人口増加に対して十分な食糧を増産することの困難を説いた書物から着想を得たと自伝などに記している。18世紀末に初版のこの書物の著者の名前を語群より選び、その番号を

(97)	(98)
------	------

 にマークしなさい。

〔設問 8〕

下線部（ク）に関連して、キリスト教の天地創造観を踏まえた種の不変説を背景に、神の意志による生物の設計を明らかにすることを目指し『自然の体系』（1735年）を著した人物の名前を語群より選び、その番号を

(99)	(100)
------	-------

 にマークしなさい。

〔語群〕

- | | | |
|-----------------|---------------------|-------------|
| 01. エラトステネス | 02. ガリレイ（ガリレオ＝ガリレイ） | 03. キェルケゴール |
| 04. ケネー | 05. ケプラー | 06. コペルニクス |
| 07. コント | 08. サン＝シモン | 09. ジェンナー |
| 10. ジョルダノー＝ブルーノ | 11. ジョン＝ステュアート＝ミル | 12. スピノザ |
| 13. スペンサー | 14. ダランベール | 15. デカルト |
| 16. ニーチェ | 17. ハイゼンベルク | 18. ハーヴェー |
| 19. パスカル | 20. ヒューム | 21. フィヒテ |
| 22. プトレマイオス | 23. フランシス＝ベーコン | 24. フレミング |
| 25. ヘルムホルツ | 26. ホイヘンス | 27. ボイル |
| 28. マルサス | 29. ライブニッツ | 30. ラヴォワジエ |
| 31. ラッセル | 32. ラプラス | 33. ランケ |
| 34. リカード | 35. リスト | 36. リービヒ |
| 37. リンネ | | |